

平成29年度(2017年度)

管理事業名	男女共同参画事業				総合計画の体系	第1章 第3節	すべての人がいきいき輝くまちづくり 男女共同参画のまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務室	(項) 1	総務管理費	(目) 24	男女共同参画費		
部局名	市民部	予算執行所属	男女共同参画室、男女共同参画センター						
予算大事業名	男女共同参画事業 DV防止対策事業 男女共同参画センター施設管理事業								
事業の目的と概要	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)ダブルリボンプロジェクト基金積立金 ダブルリボンプロジェクト基金積立事業								
事業の目的と概要 ・男女共同参画事業は、男女が共に性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、家庭責任を果たしつつ、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野における活動に對等な立場で参画し、責任を分かち合う男女共同参画社会の実現を目指そうとするものです。男女共同参画推進条例に基づき、具体的な行動計画である「すいた男女共同参画プラン」を策定し、5年ごとに見直しを行い施策を推進しています。また吹田市立男女共同参画センターは、その取組を支援するための拠点施設として事業を実施しています。 主な事業内容は以下のとおりです。 ・講座、研修会等の開催、啓発、市民の活動及び交流の支援、情報の収集及び提供、相談、調査研究を実施。 ・DV防止対策事業は、Wリボンプロジェクト、若年層に対する出前授業、リーフレット等による啓発、カウンセラーや弁護士によるDV相談等の事業を実施しています。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
主催講座等参加人数	人	6,395	5,867	6,126	男女共同参画センターの主催講座等における延べ参加者数
ダブルリボン(基金)への歳入額	円	2,273,825	2,809,355	1,553,267	指定寄附金及びWリボンバッジ販売料等の額
成果の説明	・「第4次すいた男女共同参画プラン」の策定のため、吹田市男女共同参画審議会に諮問し、答申を受けてプランを策定しました。 ・男女共同参画センターでは、男女共同参画社会の実現と女性活躍の推進につながる講座を開催し、学生向け講座の回数を増やしたことで、参加者が前年度より259人増加しました。また、センターの老朽化に伴い、エレベーターの取替工事を実施しました。 ・Wリボンプロジェクトとして様々な啓発イベントを行い、事業者等からの寄附金及びWリボンバッジの売上金の一部等をダブルリボンプロジェクト基金に積み立てました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	3,334	3,107	3,130	22
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	2,085	1,477	1,381	△95
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	3	0	0	0
その他	859	1,272	617	△655
経常収入 小計(a)	6,281	5,856	5,128	△728
給与関係費	98,891	99,091	98,605	△486
物件費	32,211	33,067	32,047	△1,020
維持補修費	3,148	2,696	2,260	△436
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	9,707	7,275	7,160	△116
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	11,034	11,034	11,125	91
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,683	6,798	6,892	95
退職手当引当金繰入額	4,486	6,088	5,131	△957
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	166,160	166,048	163,219	△2,829
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△159,879	△160,192	△158,092	2,101
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△0	△0
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△159,879	△160,192	△158,092	2,101
一般財源充当額	153,282	151,498	167,216	15,717
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-
再計	△6,597	△8,694	9,124	17,818

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	男女共同参画センター施設管理事業の外壁調査委託料1,566千円の減 ほか
その他(経常収入)	電話損益権過年度遡及登録に伴う損益修正益の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	6,281	5,348	5,128	△220
行政サービス活動支出	159,289	156,037	154,278	△1,759
行政サービス活動収支差額	△153,008	△150,689	△149,150	1,539
投資活動収入	2,000	2,000	2,000	-
投資活動支出	2,274	2,809	20,065	17,256
投資活動収支差額	△274	△809	△18,065	△17,256
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△153,282	△151,498	△167,216	△15,717
一般財源充当額	153,282	151,498	167,216	15,717
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	【投資活動収入】 ダブルリボンプロジェクト基金から2,000千円取崩し、DV防止対策事業の一部に充当しました。 【投資活動支出】 男女共同参画センターエレベーター改修工事を行いました。
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりにかかるコスト	平成27年度	367,510 人	452 円	市民1人あたり年間441円のコストがかかっています。前年度より8円減少しました。(各年度の3月31日現在の吹田市人口で算出しています。)
	平成28年度	369,522 人	449 円	
	平成29年度	370,072 人	441 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,798	6,892	95
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	6,798	6,892	95
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	293,951	301,346	7,395	固定負債	76,878	74,599	△2,278
有形固定資産	293,951	301,346	7,395	地方債	-	-	-
土地	71,593	71,593	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	222,358	229,753	7,395	退職手当引当金	76,878	74,599	△2,278
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	547	539	△8	負債の部合計	83,675	81,492	△2,184
固定資産	-	-	-	純資産	225,578	234,702	9,124
インフラ資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	11,755	11,309	△447
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	3,000	3,000	△0	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	11,755	11,309	△447
投資その他の資産	11,755	11,309	△447	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	309,253	316,194	6,940
基金	11,755	11,309	△447	負債及び純資産の部合計	309,253	316,194	6,940
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

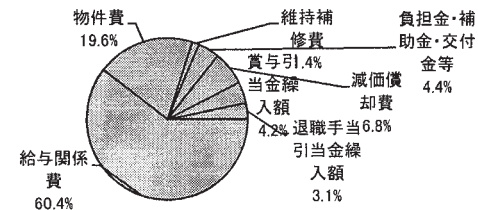
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	11人	3人		765日	26人	110,628
給与関係費等	91,399千円	12,228千円		6,085千円	916千円	
内、時間外勤務手当	727千円					

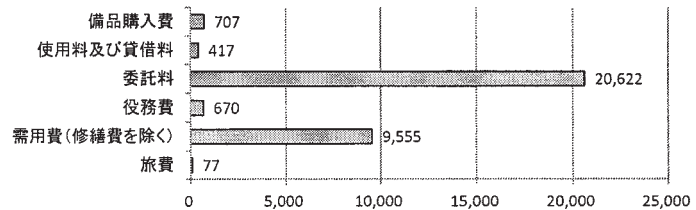
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	男女共同参画センター建物エレベーター取替工事により7,395千円の増。
基金	ダブルリボンプロジェクト基金からDV防止対策事業の一部に充当するため2,000千円の取崩しによる減、指定寄附金、Wリボンバッジ利益分、預金利子、前年度繰戻分の積立による1,553千円の増。取崩し額と積立額の差が447千円減。平成29年度は積立期間を変更。(平成28年度は2月～1月末。平成29年度は2月～12月末)

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立男女共同参画センター
取得年月日	昭和62年(1987年)5月1日
建物・工作物の取得価額	569,814千円
建物・工作物の減価償却累計額	340,061千円
利用料金収入	3,130千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成29年度			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		0.6	0.5	0.4	△ 0.1
施設老朽化比率		57.7	59.7	59.7	0.0
受益者負担比率		2.0	1.9	1.9	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		94.9	95.4	95.9	0.5
経常費用対公共資産比率		30.1	30.1	28.6	△ 1.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入の5,128千円の内訳は、3,130千円が男女共同参画センター使用料、1,381千円がダブルリボンプロジェクト基金指定寄附金です。経常経費の主なものにつきましては、給与関係費98,605千円(60.4%)、物件費32,047千円(19.6%)、減価償却費11,125千円(6.8%)となっています。また、男女共同参画センターは、平成28年度まで減価償却により毎年有形固定資産(建物)が減少していましたが、平成29年度エレベーター取替工事により、施設老朽化比率が59.7%と前年度と同率になりました。しかし、市保有施設全体の老朽化比率57.0%と比較すると、依然として老朽化比率が高い施設となります。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

・ダブルリボンプロジェクト基金は、DVや児童虐待、暴力をなくすために実施している「Wリボンプロジェクト」を地域や企業と連携し、さらに発展させて「暴力のない安心安全なまちすいた」を実現するための財源です。Wリボンバッジの売上金の一部のほか、企業や市民からの協賛による寄附金等も積み立っています。現在、基金を財源とした事業は啓発がメインとなっていますが、児童部とも協力し、基金を有効活用できる方策について課題を整理したうえで検討する必要があります。

・男女共同参画センターは、男女共同参画推進の拠点施設として、また、市民の活動や交流の場として、大勢の方に利用してもらえるよう貸借業務や多彩な講座、相談事業等を、今後も実施していく必要があります。しかし、老朽化した施設の維持管理に係る維持補修費や施設管理に係る委託料がコスト増加の主な要因になっており、これらの課題については、施設の最適化と併せて検討する必要があります。今後も修繕計画や事業の見直しを行うことで、経常経費を抑えるよう努めます。